



ついこの間の  
ような気がしますわ。  
約半世紀前って  
うっせーだー!!

● 今日、うちの老犬が19才6ヶ月を迎えます。昼夜逆転の生活、てんかん様の発作も起こすなど、絶賛介護中! - 諸に過ぎる時間は長くはないと思いますが、肉だけは自らガツガツ食べる様をみれば20才までいけるかな? それにはこちらの体調を整えないと。ただでさえ春はわけのわからない不調が起こりやすい季節ですから、そこで頼りにするのは、自律神経バランスを整える漢方のお薬です。JPS製薬の「五加参カジン」は、エリノキをベースに、血糖値が気になる方でも安心の黒糖で飲みやすくしています。また最近取り扱いはじめた「ササヘルス」は熊笹エキスのドリンクです。SNSで知人を知る「たからん先生」が紹介し、今、全国ですごい反響です。元AKBの「さほる」と小島陽菜さんが、美容雑誌の対談でササヘルスを飲んでいましたという記事が出ました。疲れたくいだづとり・デトックス・エイジングケアを目的に内側からアプロ-干、なにより100%天然の熊笹エキスで防腐剤なしも重要ポイントだろう。「五加参」「ササヘルス」どちらも言式飲できます。まずは味見して下さい。



「紅顔の美少年」の頃です。  
「厚顔の美少年」のまぢがいたわ。

● 「春はあけぼの～」ならぬ、東洋医学的には「春は肝」の季節と言われます。肝うつ症状があらわれやすくなる季節です。一般的な症状としては、いらしたし、無気力になったりするや、胸や脇がつかえたり、ガスやゲップが増えるといったことなどがあります。またからだの中で春の嵐(内風)が起こるとまぶたなどがびくびくはれんしたり、頭がふらついたり、精神的には焦りの感情が強くなり、頭がいはいいいはいの状態になったり、又寝つけない、寝て眠りが浅いといった睡眠障害も伴いやすくなります。「春は肝」の不調には前述の「五加参」や「ササヘルス」も効果的だと思います。頭がいはいいいはいたら、頭の換気扇と言わゆる羚羊角レヨウカクの入った「能活精」もオススメです。どうしようという心配や睡眠障害にはじや香の入った「救心感應丸 氣かんのがんぎ」もいいですね。『西洋医学では病気とみなされない不調』...冷之のぼせ、かぜを引かない、食が細いとか...『原因が特定できない慢性的な不調』...腹痛、倦怠感、重たさなどに対処できるのは、体質改善や根本的なからだのバランス調整を目的とした漢方薬です。

